

大規模地震に備え 八幡警察と合同訓練

写真右上＝警察署員が旧本庁舎周辺にいた要救助者を救助する様子
右下＝消防職員が旧本庁舎内で要救助者(人形)を救助する様子
左＝はしごを使って2階から救出する様子



阪神淡路大震災から30年の節目を前にした1月14日、市役所旧本庁舎で八幡警察署、市消防本部、市消防団、市役所の職員約50人が震災を想定した合同訓練を実施しました。



大規模地震が発生し、座屈した建物の内外に要救助者が複数人いるとの想定。訓練では、悪路に強いオフロードバイクで向かった警察署員が旧本庁舎周辺にいた要救助者の把握や現場の情報収集を行い、現地指揮所等に伝達。駆け付けた署員が要救助者を救助する一方、旧本庁舎内への進入のため、金属製の扉をエンジンカッターで切断。出動要請を受けた消防職員と建物内に進入しました。

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

1階の要救助者は、担架を使って、窓から救出。2階で孤立した要救助者は、消防職員がはしごとロープで救出し、治療の優先順位を決めるトリアージ訓練も実施しました。
川田市長は「同時多発的に事態が発生する災害時に近い状況で連携を確認できた」とし、橋口紀子八幡警察署長は「八幡ワンチームで地域を守るため、連携訓練の継続が重要だ」と話しました。



八幡の竹で製作した防災グッズの提案をする小学生班

小中高生が市長に提言

八幡市子ども会議

市内の小中高生が委員となり、まちの課題解決を考える「八幡市子ども会議」が1月18日に開催。今回は、初めて市役所の議場を使い、委員が川田市長に提言を行いました。

立命館大学政策科学部稲葉ゼミと連携している同会議は、平成16年に始まり、今回で21回目。委員32人が5班に分かれ、昨年6月から調査や討議を重ねてきました。

ある小学生班は、放置竹林対策と防災意識向上に、竹を使った防災グッズの製作を提案。竹での食

初の議場開催

器づくりなど「学校の授業に導入しては」と発表しました。

他の班は、観光イベントや航空関係者を招いた学校イベント、こども動物園の活用などを提案。健康増進や多世代交流に、フィンランド発祥の「モルック」を、委員のアイデアを取り入れた「やわたモルック」として活用する発表では、「やわモルをプレーできる場所を作ってほしい」との要望もありました。

川田市長は子どもならではの着眼点や示された具体案について一つひとつ感想を述べ「提案を活かせるよう考えていきたい」と話しました。

二十歳の節目 決意新た

成人の日の1月13日に、「二十歳のつどい」を文化センター大ホールで開催。色鮮やかな振り袖や羽織袴、スーツに身を包んだ519人(対象者712人)が出席し、旧友とともに人生の節目を祝いました。

式典は、市内で活動する和太鼓サークルの演奏で開幕。続いて、川田市長と小北幸博議長から、お祝いの言葉が贈られました。

参加者を代表して誓いの言葉を述べた岡田葵さんと一江凌さんは、家族や友達との思い出を振り返り、「これまで支えてくれた方々の言葉を心に刻みながら、どんな壁でもあきらめずに乗り越え、他の人の見本になれるような人間になろうと思います」と、決意を新たにしていました。

式典後、母校の先生を招いた「二十歳を祝う会」を開催。参加者は、



川田市長(左)に向かい誓いの言葉を述べる岡田さん(右)と、一江さん(中央)

再会を喜び合い、写真を撮ったり、思い出話に花を咲かせたりしていました。

今月のこの人

「みんなを支え、信頼される人に」



令和7年二十歳のつどいの実行委員。男山東中学校出身。現在は大学の国際学部で英語学を学ぶ傍ら、大阪府の社会人野球クラブチームに所属し、ピッチャーとして鍛錬を積む。

村上 大雅さん

令和7年二十歳のつどいの実行委員

「今まで家族や周りの人にたくさん迷惑をかけた分、今後は自分がみんなを支え、信頼される人になりたい」と、二十歳になった決意を語る村上さん。

明朗で目立つことが好きな村上さんは、中学時代は合唱祭の指揮者や野球部の副主将など、人をまとめる役割を任されてきました。

注意すべきことは指摘しつつ、自身も真剣に打ち込む姿に周囲も惹かれ、気づけば自然と友人が集まってきます。

大学卒業後も就職の傍ら、野球を続けるため、現在社会人野球クラブチームで練習に励んでおり、仕事と野球の二刀流を目指しています。

「ふだんはなかなか感謝の気持ちを表現できないため、たくさん支えてくれた家族に『ありがとう、これからもよろしく』と伝えたい」と、感謝と未来への希望を胸に、これからも夢に向かい邁進します。

本コーナーでは、市にゆかりのある人物や団体を紹介しています。詳しくは、市ホームページまたは秘書広報課へ。